

# 過ぎ去らない 歴史の彼方へ

— 遺骨発掘と若者たちの旅 —

さんだつ  
簞奪されてはならない〈過去〉がある。忘却ではなく、解放されるそのときを待ちわびている未済のままの〈過去〉が、いままこの列島の社会に息づいている。東アジア共同ワークショップつどに集った若者たちが、〈過去〉と向き合い、未知の他者と出会うなかで、歴史認識や自己認識を新たにしていっていった姿を浮き彫りにしたい。  
(現代文科講師 新井勝憲)

## 講演者紹介



とのひら よしひこ  
殿平 善彦

### ▶ 講演者プロフィール

1945年、北海道多度志村一乗寺に生まれ、龍谷大学卒業後帰郷して僧侶となる。1970年代から朝鮮人強制連行・強制労働犠牲者の遺骨発掘に取り組み、浄土真宗本願寺派一乗寺住職、社会福祉法人多度志保育園園長、空知民衆史講座代表などを務めるかたわら、1997年に日本・韓国・在日の若者たちと朱鞠内で遺骨発掘日韓共同ワークショップを主宰し、2015年に115体の犠牲者遺骨を韓国に返還した。以後、東アジア共同ワークショップを支援し、東アジアの若者たちの交流を図る。

## 講演者からのメッセージ

戦後日本社会に生きてきた日本人と在日との間には交流を阻む壁が続いてきた。韓国との交流も様々な壁せきが聳えてきた。その原因は、日本政府と日本社会がかつての植民地支配の傷痕を反省できないまま過ごしてきたからだ。日本国内に今も強制連行・強制労働犠牲者の遺骨が散在する。1990年代から、北海道朱鞠内に集う日・韓・在日の若者たちは共同で犠牲者の遺骨を発掘して遺族に届ける運動を続けてきた。そこに生まれた人間関係と友情を報告したい。

第1部 ドキュメンタリー映画  
『So Long Asleep / 長き眠り』上映

イリノイ大学名誉教授D・W・ブラス監督・制作。  
東アジア共同ワークショップが中心となって実現した朝鮮人強制労働犠牲者の遺骨返還の旅を記録した作品(2016/60分)。

第2部 殿平善彦氏講演  
「国境を越える若者がつくる和解と平和  
—東アジア共同ワークショップの  
歴史を振り返って—

殿平善彦さんは、『So Long Asleep / 長き眠り』に主要人物の一人として登場。

●日時 6月15日(土)

開場 / 13時00分  
講演 / 13時30分～15時30分(予定)

●会場 河合塾 上本町校

●対象 河合塾塾生、  
中高生・高卒生  
およびその保護者

入場無料・申込制

こちらより  
お申し込み  
ください▶



※教室の定員を超えた場合は、その時点でご参加を締め切りますので、ご了承ください。

河合塾 上本町校

06-6774-2581

〒543-0002  
大阪市天王寺区上汐3-1-11

[アクセス]

- 地下鉄谷町線・千日前線谷町九丁目駅  
5号出口から徒歩2分
- 近鉄大阪線・奈良線大阪上本町駅から徒歩2分